

表紙

- 1ページ: 内容
- 2: 写真
- 3: ロンドンへの召命
- 5: スポーツ
- 7: デビー・フラッド
- 9: 2008年競技の男子金メダリスト
- 10: 2012年競技の男子金メダリスト
- 11: 2008年競技の女子金メダリスト
- 12: 2012年競技の女子金メダリスト
- 13: 男子100メートル
- 15~18: ロンドンの地図
- 19: 北京の思い出
- 21: 女子
- 22: 過去と現在
- 23: エリック・リデル
- 25: 会場
- 26: メダル獲得数
- 27: アリソン・フィリックス
- 29: 良いコメント
- 30: 雑学
- 31: 本当の栄光

ページ2: 写真

ページ3-4: ロンドンへの召命

1908年の大会は、当初イタリアのローマとナポリの予定だったが、ベスビオ山には他の思惑があって、都合悪く噴火してしまった。ロンドンが、第2の選択肢だった。10ヵ月以内に、スタジアムはシェパーズ・ブッシュに建設された。それには陸上競技用トラック、自転車競技場、フットボール競技場、水泳プール、体操とレスリングのための設備が含まれていた。私達がニュー・ウェンブリー・スタジアムで抱えていた問題と比較してみてください！

2035人の参加者がいた—女子は 36 人だけだった—22ヶ国、21の競技と110の種目がもたれた。開会式の時に選手が国毎に行進したのは、この時が初めてだった。

1948年

オリンピックは、第二次世界大戦による12年間の空白の後、50ヶ国の参加をもって再開された。ドイツと日本は、戦争参加の故に追放された。ロンドンは、1920年のアントワープのように、戦争で被った都市の損害が認められて選ばれた。初めてその活動は、各家庭のテレビで広く観られた。

オードリー・パターソンは、200メートル走で銅メダルを取り、最初にメダルを取った黒人女性となった。一方、イオナ・エルクとジャン・バルザックの二人は、1936年以來からのタイトルを無事守った。ファニー・ブランカーズ・コーエンは、100メートルと80メートル・ハードル、200メートルと短距離リレーの4種目で勝利し、6種目の世界記録保持者として、この大会に参加した。

ページ5-6

スポーツ 2010

アーチェリー:7月27日(金)ー 8月3日(金)

陸上競技:8月3日(金)ー 8月12日(日)

バドミントン:7月28日(土)ー 8月5日(日)

バスケットボール:7月28日(土)ー 8月12日(日)

ビーチバレー:7月28日(土)ー 8月9日(木)

ボクシング:7月28日(土)ー 8月12日(日)

カヌー・スラローム:7月29日(日)ー 8月11日(土)

自転車:7月28日(土)ー 8月12日(日)

飛び込み:7月29日(日)ー 8月11日(土)

馬術:7月28日(土)ー 8月9日(木)

フェンシング:7月28日(土)ー 8月5日(日)

サッカー:7月25日(水)ー 8月11日(土)

体操:7月28日(土)ー 8月12日(日)

ハンドボール:7月28日(土)ー 8月12日(日)

ホッケー:7月29日(日)ー 8月11日(土)

柔道:7月28日(土)ー 8月3日(金)

近代五種:8月11日(土)ー 8月12日(日)

ボート競技:7月28日(土)ー 8月4日(土)

帆走:7月29日(日)ー 8月11日(土)

射撃:7月28日(土)ー 8月5日(日)

水泳:7月28日(土)ー 8月10日(金)

卓球:7月28日(土)ー 8月8日(水)

テコンドー:8月8日(水)ー 8月11日(土)

テニス:7月28日(土)ー 8月5日(日)

トライアスロン:8月4日(土)ー 8月7日(火)

バレーボール:7月28日(土)ー 8月12日(日)

水球:7月29日(日)ー 8月12日(日)

ウエイトリフティング:7月28日(土)ー 8月7日(火)

レスリング:8月5日(日)ー 8月12日(日)

ページ7-8 デビー・フラッド - オリンピックを振り返る

私の最初のオリンピックへの参加は、その場に居ること、また競技も同様に、その全体の雰囲気は驚くべき体験でした。最初、オリンピックは、何がそんなに特別なのかと思いました。私達は、国際競技で毎年同じ人々と競争していました。しかし、その場に着いた時、全く違った雰囲気で、更にもっと緊迫していました。それは、本当に驚くべき事でした。

私は、2004年のアテネで銀メダルを獲りました。それ以来 4 年間、すべて北京での6分間の競争のために、1週間に6~7日、1日に2または3セッションの練習をしました！ 私達はまた2位でした。特に、レースの4分の3は、私達がリードしていましたので、金メダルを獲れなかった事はものすごい失望でした。しかし私は、勝つためには決して祈る事はありません。私は、どんなレースでも最善を尽くす事が出来るよう、いつも祈ります。私は、私達が負けた事、または自分がクリスチャンなので勝つ事を期待すべきであるという事が、神の過ちであるとは思っていません。私の人生は、神の御手の中にあり、私への神の賜物は、この基準を達成するための私の可能性です。ですから、私はその能力を出来る限り使おうとします。私は、神の証しとなるため、レースを通して神の栄光を現し、そしてまた行動によって神を称賛するために、神が私をボート競技に入れたと本当に信じています。そして、神は私の人生の中心であり、私がするすべての部分で、それにはスポーツも含まれています。

スティーブ・レッドグレイブ卿は、オリンピックに備えてトレーニングしているスポーツ選手として、より高く、より速く、より強くというモットーが、あなたの存在となり人生になると、BBCでコメントしました。多くの方法で行ない、そして予選を通過するため、そうしなければなりません。しかし、クリスチャン選手として、神は私の人生の中で第一とならなければなりません。

デビー・フラッド、2004年と2008年に、4人乗り漕艇で銀メダル獲得

ページ9:2008年競技の男子金メダリスト

ページ10:2012年競技の男子金メダリスト

ページ11:2008年競技の女子金メダリスト

ページ12:2012年競技の女子金メダリスト

ページ13-14:男子100メートル

100メートル走は、オリンピックの中で時間的に一番短い種目でー10秒ほどである。そしてまた、もっとも興奮するものである。最高名誉の種目である。以下は、金メダルを獲った有名な選手の名前である。

男子100メートル、オリンピック金メダリスト

1896:	トーマス・パーク	(アメリカ)	12.0
1924:	ハロルド・アブラハム	(イギリス)	10.6
1936:	ジェシー・オーエン	(アメリカ)	10.3
1968:	ジェームス・ハインズ	(アメリカ)	9.95
1980:	アラン・ウェルズ	(ドイツ)	10.25
1984:	カール・ルイス	(アメリカ)	9.99
1988:	カール・ルイス	(アメリカ)	9.92
1992:	リンフォード・クリスティ	(イギリス)	9.96
1996:	ドノヴァン・ベイリー	(カナダ)	9.84
2000:	モーリス・グリーン	(アメリカ)	9.87
2004:	ジャスティン・ガトリン	(アメリカ)	9.85
2008:	ウサイン・ボルト	(ジャマイカ)	9.69

1988年の競争は、もっとも劇的だった。カナダのベン・ジョンソンは、ライバルの強敵カール・ルイスを抜いて、9.79の世界記録で1位になった。スポーツの大きな皮肉の一つで、ジョンソンが、世界記録と金メダルのどちらが彼にとって意味ある事かと尋ねられた時、彼は「メダル。それは誰もあなたから奪う事の出来ないものだよ。」と答えた。ジョンソンは、薬物テストに陽性反応が出て、メダルは剥奪され、世界記録は取り消された。

2008年には、ウサイン・ボルトが3個の金メダルを獲得した—100メートル走に加えて、200メートル走と4x100メートル・リレー。その上、この3種目の決勝で世界記録を破った。

ページ 15-18 ロンドンの地図

ページ 19-20 北京大会での思い出

北京オリンピックは本当に思い出に残るイベントだった。鳥の巣スタジアムは壮大だった、そして、水のキューブのブルー・アクアティック・センターも同様に荘厳だった。強い歴史感もあり、自転車競技は万里の長城で行なわれ、マラソンの出発地点には天安門広場だった。地元の観衆には、元気づけられるものがたくさんあり、中国はメダル獲得数がトップで、51個の金メダル、そして全部で100個のメダルを獲った。イギリスは19個の金、全体で47このメダルを獲得し4番目だった。

記録的な204ヶ国のオリンピック委員会が大会に参加した。タジキスタン、アフガニスタン、モーリシャス及びトーゴは、初めて表彰台に上る経験をした。また一方、モンゴル、バーレーン、及びパナマは、何とか更に良い結果をだし、選手達が自国で最初の金メダルを持ち帰った。8個の金メダルを獲得した(5つの個人競技と3つのリレー)水泳選手のマイケル・フェルプスは優れた成績を残した。最も人気の高い一人であるエレナ・イシンバエワは、女子棒高跳びで順当に勝ち進み、当然、世界新記録を打ち立てた。これは、彼女の経歴の中で得た15個の中の一つである。(加えて室内が12個)

人口300万のジャマイカは、男子100メートルと200メートルをウサイン・ボルトが勝った事により短距離を制し、400メートル・リレーでも金を獲った。女子短距離では、ジャマイカが100メートルで3個全てのメダルを獲り、200では金と銅を獲った。短距離で人気のあるのはリレーだが、彼らは良い結果を出せなかった。

イギリスの自転車選手は、8個の金を含む14個のメダルを獲り秀でていた。クリス・ホーイは、3個の自転車競技の金メダルを獲った。イギリスもまた6個の漕艇と6個の帆走のメダルを獲得した。イギリスの2個の金メダルを含む、6個の水泳メダルはレベッカ・アドリントンによってもたらされた。彼女は、1989年以來破られる事なかった800メートルで世界記録を破った。そして、女子400メートルで、私達唯一の陸上競技の金メダルを獲るために、ずっと長い道のりを経て来たクリスティン・オルグを忘れないだろう。

ページ21 オリンピックの女性

女性は、オリンピックの場の大きな部分を占めている。 エレナ・イシンバエワ、レベッカ・アドリントン、ビクトリア・ペンドルトンなどについて考えてみて下さい。しかし、それはいつもそうではなかった。

古代オリンピックでは、女性は締め出された - 大会に出席する事さえ死刑になった。結局、男性は裸で競争する傾向があった。1896年にオリンピックが再開した時、女性はいなかった。

ピエール・ド・クーベルタン男爵は、男性はもっと強健で、女性は弱過ぎる考えていた。1900年は、イギリスのシャーロット・クーパーが個人テニスで、女性が競技で初めて金メダルを獲得した最初のオリンピックであった。1908年までには、スケートとテニスで36人の女子選手がいた。1936年まででも、女性には4種目の競技のみだった。1968年では、6種目のみだった。1928年に、800メートル走が初めて行なわれたが、そのゴール終盤で倒れる者が数人もいた。その競技は、女性には危険過ぎるとし、1960年まで再び行なわれる事はなかった。

2008年には、4000人以上の女性が28の競技で競った。100以上の女子個人種目と加えて8のチーム種目がある。女性は、馬術競技において平等に男性との自由競争に参加する。女性も、バドミントンの混合ダブルスにおいて、男性と張り合う。

現代の女性がマラソン、トライアスロン、重量挙げ、レスリング、そして射撃で競っているのを、クーベルタンはどう思うだろうか？

ページ22

過去と現在

近代オリンピックでは、15種目が行なわれている：

陸上競技

100、400、800、1500メートル

マラソン

110メートル・ハードル

高飛び、幅跳び、三段跳び

棒高跳び

砲丸投げ

円盤投げ

フェンシングー 個人フルーレと個人サブレ

水泳-1500メートル自由形

以下は、以前オリンピック種目であったが今はない：

クリケット

クロケット

ゴルフ
 コート・テニス
 ラクロス
 モーターボート
 ペロタ
 ポロ
 ラケット
 ラグビー
 ソフトボール
 綱引き

ページ 23-24 エリック・リデル

エリック・リデルは、スコットランドで生まれたが、2012年のオリンピック公園から余り遠くないエルサム大学に行った。エリックは勿論1924年のオリンピックで金メダルを獲ったランナーである。彼の両親がスコットランド人宣教師であった中国で、宣教やティーチングに献身する以前のことだった。彼の物語は映画「炎のランナー」になった。

エリックは、国際的レベルの短距離選手で、1924年オリンピックの100メートルで金メダル可能性のある選手として語られていた。しかし、オリンピックのスケジュールが発表された時、予選日が日曜日と決められた。エリックは、クリスチャンとして「安息日」を尊び、100メートルを走らないと決めた。

彼は、1924年オリンピックの200メートル最終で銅を獲り、それから400メートルで金を勝ち取ったばかりでなく、その過程で47.6の世界新記録を出した。中国へ行くという彼の決断は、競争競技では1925年が最後のシーズンになる事を意味していた。彼は1945年に、中国ウェイシエンの日本捕虜収容所で亡くなった。

エリック・リデルは、78年前にオリンピックでただ一度だけ競い、ただ一個の金メダルを獲得しただけだった。しかし、もっと記録を残した多くのオリンピック選手より良く知られている。エリック・リデルの人生は、12冊の伝記に描かれ、映画になり、そして少なくとも2本のTVドキュメンタリーになったが、彼の何がそんなに人を引き付けるのか？

答えは、彼が日曜日に走る事を拒否した事にあるようだ。彼は、自分のクリスチャン信仰の原則がもっと重要であるが故に、100メートル走（彼が勝ちたかったレースである）で金メダルのチャンスを投げ捨てた事で何百万人もの人々の想像心を捕えた。

2012年オリンピックでは、多くの偉大なチャンピオンが出るだろう。しかし、エリック・リデルのような清廉潔白さと人格はみられるだろうか？

ページ 25 会場

ロンドン・オリンピックは、新旧両方の会場で行なわれる。

メイン会場は、勿論オリンピック公園内のオリンピック・スタジアムだが、水上センター、バスケットボール・アリーナ、BMXサーキット、ハンドボール・アリーナ、ホッケー・センター、そして競輪場も含まれる。

その他のロンドン会場は、アールズコート、エクセル、グリニッチ・パーク、ホースガーズパレード、ハイドパーク、北グリニッチ・アリーナ、リージェンツ・パーク、王立射撃場、ウェンブリー・アリーナ、ウェンブレとウィンブルドン。

ロンドン以外は、イートン・ドニー（漕艇）、ハドリー・ファーム（自転車）、帆走のためにリー・バレー、ホワイト・ウォーター・センター、ウェーマス、ポートランド。

サッカーは、ハンプデン・パーク、グラスゴー、ミレニアム・スタジアム、カーディフ、セント・ジェームス・パーク、ニューキャッスル、コベントリー・スタジアム、オールド・トラフォード、マンチェスター、そしてウェンブリー・スタジアムで行なわれる。

ページ26 2008年のメダル受賞

順位	国	金	銀	銅	合計
1	中国	51	21	28	100
2	アメリカ	36	38	36	110
3	ロシア	23	21	28	72
4	イギリス	19	13	15	47
5	ドイツ	16	10	15	41
6	オーストラリア	14	15	17	46
7	韓国	13	10	8	31
8	日本	9	6	10	25
9	イタリア	8	9	10	27
10	フランス	7	16	18	41

975個のメダルが授与された。52ヶ国が金メダル、ある品目のメダルが80個授与された。

（これらの統計の目的のためのNB、チーム競技は1個のメダルと数えて、そのメンバー数は数に入れない）

ページ27-28

アリソン・フェリックス - 成功それとも失敗

アリソン・フェリックスは、女子200メートルで世界タイトルを3回獲ったが、オリンピックのタイトルではなかった。しかし、2008年のリレーで金を獲った。2004年と2008年の200メートルでは2位だった。銀メダルの獲得は、成功か失敗か？アリソンは、その質問を十分に理解している。

「2004年、レースを終えた途端、銀をどのように受け取ったら良いのかよく分かりませんでした。どんなレースに出ても、勝とうとしてレースに挑むと思います。ですから、当然少しはがっかりしましたが、私の家族はすぐに、私が事を大局的に捉えるようにしてくれ、私が達成した事は間違いなく成功であると悟りました。」

勝つために走る事は、本当に彼女自身の一部だった：「私は競争が好きです。私は競争に勝ちます。私は、世界で最高の女性と競うのが好きです。訓練に懸命に取り組んで、同じように訓練している人に対してどのように対戦するかを見るためです。しかし、それが私の全てではありません。それは、ほんの一部で、私には人生で達成したい事がたくさんあります。」

彼女のイエス・キリストとの関係は、彼女の人生の中心をなしている。「私は、イエス様を知る事のない人生を想像することが出来ません。私は、ただ起きて、イエス様無しに人生を生き抜く事は想像出来ません。ですから、イエス様は私のいのちであり、そのために私は生きています。」

アリソン・フェリックス(USA)：2004年と2008年のオリンピック200メートルで銀メダル。
2008年オリンピック400メートルリレーで金メダル

ページ29 良いコメント

良い知らせは、私達のために十字架で死なれたイエス様、そして私達は失われなくてもいい事です。私達はイエス様のもとに来る事ができ、彼は私達を救う事ができ、そして私達は彼に従うことができ、人生の目的を持つことができます。

(アリソン・フェリックス、2004年、2008年に200メートル銀メダル)

聖書では、天国への道はたった一つであると言っています—それはイエス・キリスト。もしあなたが天国に行くには、ただイエス・キリストを通してのみ行く事が出来ます。イエス・キリストは天国への道、神への道です。

(ディユドネ・ディジ、ルワンダ：2004年と2008年オリンピックで10,000メートルを走る)

私達が永遠のいのちを得られるよう、私達のために死なれました。それは、良い事をしようとする事ではなく、イエス様によって行なった良い行ないが受け入れられるのであり、イエス様をあなたの人生に受け入れる事です。私達運動選手も他の人と同じように奮闘します。皆さんが私達を見るのではなく、イエス様を見るよう勧めます。なぜならイエス様は完全だからです。

(ジュリアン・ポーリング、スリランカ：オリンピック3回出場)

私の経歴と名声はいつか終わると思います。イエス様は、人生にはもっと大切な事があると教えました。それは永遠の命です。なぜなら、私はイエス・キリストを知っています。そして確かに永遠のいのちを見出しました。

(ヘンドラワン、バドミントン、シングル：2000年に銀メダル)

オリンピックのために、チームを作る事はすばらし事です。なぜなら、それは私の大きな夢であり、神様がそれを起こさせてくださいました。私がケニアのために勝つ事を皆が望んでいたのを知っていたので、国のために背負っている重荷を感じていました。

(キャサリン・ヌデレバ：2004年と2008年のオリンピックの銀メダリスト)

ページ30 余り知られていない事実

男性と女性は、射撃、ヨット、馬術競技で互いに競い合っている。

ロンドン・オリンピック公園の建設中に、2000匹のイモリと何百匹ものヒキガエルが一時的に別の場所に移された。

ロンドン・オリンピックの後、バスケットボール競技場は分解され、イギリスの他の場所に再建されるだろう。

2,000 人のブロードキャスターとジャーナリストは、2012 年のロンドンに集まると期待されている。

オリンピック施設の建設中に、青銅器時代、鉄器時代、そして第二次世界大戦の軍事基地の痕跡が、考古学者によって発見された。

ロンドンには、2005 年 7 月に 2012 年オリンピック主催の権利が与えられた。建設は 2008 年夏に始まった。

近代オリンピックの父、ピエール・クーベルタン男爵は、シュロップシャーのマッチ・ウェンロック大会を訪れ、その近代オリンピック運動への貢献を認識した。

1948 年に、ストークマンデヴィル病院で持たれた脊髄損傷をした兵士のためのスポーツ競技は、パラリンピックの前身でした。

ページ 3 1-3 2

本当の栄光？

私達ほとんどにとっては、オリンピックの栄光は、単に想像することしかできない。しかし、参加する人々にとっては、人生において忘れられぬ期間である。この小冊子では、200 ヶ国のオリンピック選手の集団で満員になったスタジアムの中に歩いて入って行く時の言葉で言い表せない感情を経験した人々から便りを貰う。デビー・フラッドは、彼女の初めてのオリンピックを思い返して、「驚くべき経験」という言葉を使った。

興奮と共に、実技競争するプレッシャーと失敗の恐れがある。キャサリン・ヌデレバは「私がケニアのために勝つ事を皆が望んでいたのを知っていたので、国のために背負っている重荷」の気持ちを語った。あなたはどのようにこれらのプレッシャーと要求に対処しますか？

彼女の才能は神から与えられたもので、神が彼女を漕艇に入れたという強い確信は、デビーの秘訣の一部である。クリスティ・バルフォーは、単に「最善を尽くして、そして神に支配してもらおう」ようにしていると語った。

オリンピックで金メダルを獲得する事は、最高の達成である。それは多くの人に与えられていない。栄光もまた一時的で、4 年後にはまた新しいチャンピオンが出て来る。あなたの地位を奪うために、より速い、より強い人が常に存在する。良い知らせは、イエス・キリストとの個人的な関係を通して、勝利と葛藤を理解している友を持つ事が出来る。

キャサリン・ヌデレバは、それをこのように表現した：「イエス様は私の罪のために死なれました。なぜなら、私をとて愛していて、私が死んで、永遠に滅んで欲しくないのです。そのために、神様は私のために、イエス様を十字架の上で死なれるよう捧げられたのです。それは、私が彼と共に生きるためです。」

イエス様は、彼のもとに行く者は誰でも受け入れて下さり、私達の友となって下さるばかりでなく、私達を死を通して、永遠のいのちに連れて行って下さるのです。出発点は、イエス様が存在し、私達の罪を赦すために十字架の上で死んで下さった事、私達が受けるべき刑罰を、身代わりに受けて下さったという事を信じることです。

あなたは、今、次のように祈りの言葉を用いて、イエス様に自分の人生を支配して頂き、罪を赦して頂くように求める事ができます。

イエス様、あなたを個人的に知りたいです。私の罪のために十字架の上で死んで下さり有り難うございます。心を開いて受け入れます。私の罪を赦し、永遠のいのちを与えて下さり有り難うございます。私の人生を支配して下さい。私が、あなたの望むような人になるよう助けて下さい。